

広島の景気観測

平成19年6月調査結果

広島商工会議所会員企業のマインド調査

調査方法 郵送によるアンケート

調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目についての状況(DI値を集計)
平成19年6月を前年同月と比較
平成19年7月～9月の先行き見通しを平成19年6月と比較

調査時期 6月下旬

調査対象 144社〔回答140社、回収率97.2%〕

DI (ディフュージョン・インデックス方式)

DIは各調査項目について判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)の回答割合が多いことを示す。

$DI = (\text{増加・好転など「良い」の回答割合}) - (\text{減少・悪化など「悪い」の回答割合})$

広島商工会議所

本件担当：会員サービス部企画広報チーム

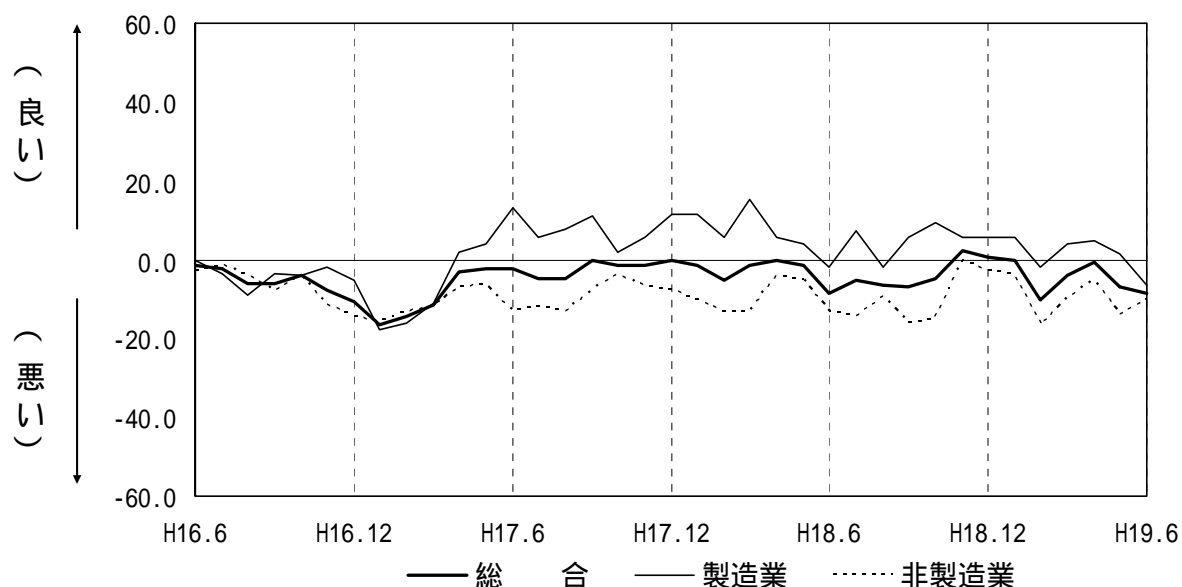
TEL 082 - 222 - 6631

E-Mail : hiroshima@hiroshimacci.or.jp

【平成19年6月の景況D I】

～景況感はやや下向く～

景況D I (前年同月比)の推移



【総合】

6月の総合D Iは、下表のとおり前年同月比ベースで5月の 7.1 から 1.4 ポイント下降し、 8.5 となった。

【製造業】

製造業全体のD I値は5月の 1.6 から 8.0 ポイント下降し、 6.4 となった。
業種別では、食品、紙・紙製品・印刷、機械・金属製品、自動車関連が下降した。

【非製造業】

非製造業全体のD I値は5月の 14.1 から 3.8 ポイント上昇し、 10.3 となった。
業種別では、サービス業が上昇し、消費材卸売業、小売業は下降した。

【平成19年7月～9月の先行き見通し(対平成19年6月比)】

総合D Iは 4.4 と、前回予測 (12.0) から上向く見込み。

製造業全体のD I値は 1.6 と、前回予測 (7.0) から上向く見込み。

非製造業全体のD I値は 6.6 と、前回予測 (15.6) から上向く見込み。

業種別景況 D I

	前年同月比			回答社数構成比(%)			19年5月比 6~8月	19年6月比 7~9月	回答社数構成比(%)		
	4月	5月	6月	好転	横ばい	悪化			好転	横ばい	悪化
総合 (140)	0.7	7.1	8.5	7.9	75.7	16.4	12.0	4.4	7.3	81.0	11.7
製造業 (62)	5.0	1.6	6.4	9.7	74.2	16.1	7.0	1.6	8.2	82.0	9.8
食品 (12)	8.3	0.0	16.7	0.0	83.3	16.7	10.0	8.3	8.3	91.7	0.0
木材・木製品 (10)	0.0	9.1	10.0	10.0	70.0	20.0	0.0	22.2	22.2	77.8	0.0
紙・紙製品・印刷 (8)	0.0	25.0	37.5	0.0	62.5	37.5	25.0	37.5	0.0	62.5	37.5
機械・金属製品 (15)	21.5	28.6	20.0	26.7	66.7	6.7	7.7	6.7	6.7	93.3	0.0
自動車関連 (10)	20.0	0.0	10.0	0.0	90.0	10.0	0.0	20.0	0.0	80.0	20.0
合成樹脂・ゴム製品 (7)	14.3	0.0	0.0	14.3	71.4	14.3	28.6	0.0	14.3	71.4	14.3
非製造業 (78)	5.2	14.1	10.3	6.4	76.9	16.7	15.6	6.6	6.6	80.3	13.2
建設業 (15)	0.0	6.7	6.7	13.3	66.7	20.0	0.0	0.0	13.3	73.3	13.3
卸売業 (21)	15.0	15.0	19.0	0.0	81.0	19.0	30.0	20.0	0.0	80.0	20.0
消費財 (11)	20.0	10.0	18.2	0.0	81.8	18.2	10.0	0.0	0.0	100.0	0.0
生産財・資本財 (10)	10.0	20.0	20.0	0.0	80.0	20.0	50.0	44.4	0.0	55.6	44.4
小売業 (19)	5.5	5.2	15.8	5.3	73.7	21.1	10.5	5.5	5.6	83.3	11.1
サービス業 (23)	0.0	25.0	0.0	8.7	82.6	8.7	17.4	0.0	8.7	82.6	8.7

()内は集計事業所数

4月・5月・6月期については対前年同月との比較。

6~8月・7~9月期の予測については各々5・6月との比較。

業種別回答者数構成比

